



Dr.WARI の総合診療 Skill-Up 講座

2022年2月7日～3月4日

参加者：西井盛人、小熊眞惟

資本主義に関する本を3冊読んでみた。

斎藤幸平著『人新世の資本主義』、イワン・クラステフ著『模倣の罫』、キア・ミルバン著『ジェネレーション・レスト』である。世の中が大金持ちと貧困者に2分化されている。恵まれた才能と努力の結果、金持ちが益々潤うことを是認し、その一方で、貧困者も金持ちからの余剰で生きていける、という発想はおかしい（マルクスがそう言っている）。

『人新世の資本主義』から。話は気候変動から始まる。気候危機は既に始まっている。これは人災である。資本主義は「中核」と「周辺」で構成されている。資本主義による収奪の対象は周辺部労働力だけでなく、地球環境全体（採取主義）なのだ。気候変動はその帰結なのだ。資本主義は自らの矛盾を別のところへ転嫁し、不可視化する。現在、資本の外部化や転嫁の余地が急速に萎んでいる。経済成長を支えてきた大量生産・大量消費そのものを抜本的に見直さなければならないときに来ているのである。しかしながら資本主義は自ら止まりはしない。そのうち変わるかもしれないなどという楽観的な予測は間違っている。法律や政策の変更だけでは資本主義は飼いならせない。政治は経済に対して、自立的ではなく、他律的なのである。資本主義を乗り越えて、「ラディカルな贅沢さ」を実現するのが「コモン」なのだ。「資本主義の超越」、「民主主義の刷新」、「社会の脱酸素化」が三本柱となる。「3.5%」の人々が非暴力的な方法で本気で立ち上がると、社会が大きく変わる（エリカ。チェノウェス）。我々の未来は、今、3.5%のひとりとして立ち上がるかにかかっている、と論を結んでいる。

『模倣の罫』から。西欧先進諸国の民主主義・資本主義を鏡とする「模倣の時代」の行き詰まりが、プーチン、習近平、トランプなど強権的な指導者の登場を招いた。3つタイプの模倣の誤りがあるという。1) 中東欧の模倣は、羞恥や屈辱や敵意の感情を生んだ。幻滅も生じ、知識人は給与の高い先進国へ脱出し、低知識層が中心の反自由主義や排外主義のルーツとなった。2) ロシアは共産主義を卒業し自由主義になったというが、表面上の「模倣の政治」に過ぎなかった。民主的な選挙でリーダーを選んでいるように世界にアピールしているが、実は強権で選挙を圧殺する帝王政治である。3) 中国は資本主義だけを模倣し、民主主義は模倣しなかった。中国は主義を押し付けないが、お金を儲けて援助国への経済的なプレッシャーで覇権を握ろうとしている。そもそも問題の多い資本主義を「模倣」すること自体が間違いかもしれない。正しく模倣しても、大金持ちと貧困者しか生まないのだから。

『ジェネレーション・レスト』から。資本主義は3%の成長が見込めなければシステムそのものが破綻してしまうそうだ。市場に任せておけばいい、新自由主義こそが効率的である、政府は小さい方がよい、という新自由主義は金融危機・気候変動の危機に全く機能していない。年配世代は自由主義に従属し、若者世代はそこから逃げ出そうとする。2008年の金融危機から、若者たちの左傾化が進んだ。2011年に全世界に広がった様々な抗議運動（英国のジェレミー・コービン、米国のバーニー・サンダース）が一時盛んになった。新自由主義政策が世代間格差を生み出し、若者が負の影響を被る、と考えるからである。各世代が「出来事」をどう経験するかが「保守化」「左傾化」の別れ目になるという。大災害を利潤に誘導する「ショック・ドクトリン（ナオミ・クライン）」など醜い資本主義者に反発し、世界的な抗議活動を若者たちは能動的・積極的なものとして経験した。2019年、若者たちのこのような活動は勝利間近であったが、新型コロナウイルス禍で集会や抗議活動ができにくくなり、一時停滞してしまった。しかし、若者の「コモン」を目標とする思想・活動は静かに盛り上がっている。未来はどこへ向かうのか。新しい社会に向けた大きなビジョンを描きことが不可欠である。

若いジェネレーションに現状打破を託すだけでなく、我々の世代も彼らの訴えに耳を傾け、新しい価値観を学び、ともにアクションを起こす必要がある。我々は「合成の誤謬（目の前の合理性追求は、大衆の不幸）」の世界から脱却しなければならない。

症例	病名/内容	開催日
レクチャー 1	Opening Statement	2月7日
レクチャー2	Semantic Qualifier	2月7日
レクチャー3	V I N D I C A T E - P	2月7日
レクチャー4	オッカムの剃刀、ヒッカムの格言、サットンの法則	2月7日
症例 1	大動脈弁狭窄症	2月7日
症例 2	結節性多発動脈炎	2月7日

症例 3	Cushing 症候群	2月7日
症例 4	感染性心内膜炎	2月7日
症例 5	クロイツフェルト・ヤコブ病	2月7日
レクチャー5	Cushing 症候群	2月7日
レクチャー6	全身性血管炎	2月7日
レクチャー7	掻痒	2月8日
レクチャー8	原因不明の慢性腹痛	2月8日
症例 6	石灰沈着性頸長筋腱炎	2月8日
症例 7	セロトニン症候群	2月8日
症例 8	Pancoast 腫瘍	2月8日
症例 9	コレステロール結晶塞栓症	2月8日
症例 10	Hyperlipidemia causing an acute flare of pancreatitis	2月8日
症例 11	Mercury toxicity	2月8日
レクチャー8	徐脈	2月8日

レクチャー8	風邪の分類	2月9日
レクチャー9	風邪とコロナ感染の見分け方	2月9日
症例 12	卵円孔開存からの両側後脳底動脈梗塞	2月9日
症例 13	Primary aldosteronism	2月9日
症例 14	PFAPA syndrome	2月9日
症例 15	消化管アニサキス症によるアナフィラキシーショック	2月9日
症例 16	腎動脈解離 + 腎梗塞	2月9日
症例 17	側頭動脈 + PMR	2月9日
レクチャー10	頻脈	2月9日
レクチャー11	入院中の発熱	2月10日
レクチャー12	新規ケイレン・意識障害	2月10日
症例 18	化膿性門脈血栓性静脈炎	2月10日
症例 19	脊椎梗塞	2月10日
症例 20	ALS	2月10日

症例 21	PFAPA 症候群	2月10日
症例 22	Normal pressure hydrocephalus	2月10日
症例 23	Typhoid fever	2月10日
レクチャー13	開腹歴のない腸閉塞	2月15日
レクチャー14	肝臓と腎臓が悪化する病態	2月15日
症例 24	下垂体膿瘍	2月15日
症例 25	化膿性脊椎炎	2月15日
症例 26	ビタミンD欠乏による骨軟化症	2月15日
症例 27	特発性後天性全身性無汗症	2月15日
症例 28	感染性心内膜炎	2月15日
症例 29	虚血性腸炎による敗血症性ショック	2月15日
レクチャー15	糖尿病治療の変遷	2月15日
レクチャー16	抗菌薬でよくならない肺炎	2月16日
レクチャー17	市中肺炎の鑑別診断	2月16日

症例 30	トキソプラズマ症	2月16日
症例 31	腸チフス	2月16日
症例 32	再発性多発軟骨炎	2月16日
症例 33	A C T H単独欠損症	2月16日
症例 34	Parkinson's disease	2月16日
症例 35	Idiopathic pulmonary fibrosis	2月16日
レクチャー18	虫垂炎	2月16日
レクチャー19	レイノー現象	2月17日
レクチャー20	アルコールがらみの疾患	2月17日
症例 36	子宮留膿腫穿孔	2月17日
症例 37	ACE 役関連血管浮腫	2月17日
症例 38	サルコイドーシス	2月17日
症例 39	高安動脈炎	2月17日
症例 40	SIADH due to lung ca	2月17日

症例 41	DVT+sepsis	2月17日
レクチャー21	肺塞栓症	2月17日
レクチャー22	増悪・軽快を繰り返す疾患	2月18日
レクチャー23	発熱+脾臓梗塞	2月18日
症例 42	ジカ熱	2月18日
症例 43	ツツガムシ病	2月18日
症例 44	家族性地中海熱	2月18日
症例 45	再発性多発軟骨炎	2月18日
症例 46	Neurobrucellosis	2月18日
症例 47	Herpes Zoster	2月18日
レクチャー24	消化管出血	2月18日
レクチャー25	CRP 陰性の不明熱	2月21日
レクチャー26	味覚障害	2月21日
症例 48	感染性心内膜炎+卵管膿瘍	2月21日

症例 49	IVL	2月21日
症例 50	単純ヘルペス脳炎	2月21日
症例 51	急性閉塞狭隅角緑内障	2月21日
症例 52	Cysticellosis	2月21日
症例 53	Pentazocine-induced ulceration	2月21日
症例 54 北海道 GIM	自律神経過緊張反射 + NSAID アナフィラキシー	2月21日
症例 55 北海道 GIM	肺塞栓症 (Platepnea)	2月21日
レクチャー27	貧血	2月21日
レクチャー28	移動性関節炎	2月22日
レクチャー29	顎のしびれ	2月22日
症例 55	生食混入によるデータ異常	2月22日
症例 56	バーキットリンパ腫	2月22日
症例 57	デュラファイ潰瘍	2月22日
症例 58	Wernicke-Korsakoff 症候群	2月22日

症例 59	Secondary Syphilis	2月22日
症例 60	TTP	2月22日
レクチャー30	頭痛	2月21日
レクチャー31	ALP 上昇で、AST,ALT, T.Bil 正常	2月24日
レクチャー32	リング状造影	2月24日
症例 61	トキシック・ショック症候群	2月24日
症例 62	破傷風	2月24日
症例 63	オルメサルタン腸炎	2月24日
症例 64	インスリノーマ	2月24日
症例 65	Anti-NMDA receptor encephalitis	2月24日
症例 66	Osteosarcoma with lung metastases	2月24日
レクチャー33	過凝固になりやすい悪性腫瘍	2月24日
レクチャー34	日中過剰な眠気	2月24日
症例 67	Whipple 病	2月24日

症例 68	腸管関連 T 細胞リンパ腫	2 月 24 日
症例 69	ナルコレプシー	2 月 24 日
症例 70	Bell 麻痺	2 月 24 日
症例 71	Fitz-Hugh Curtis syndrome	2 月 24 日
症例 72	Bernard-Soulier syndrome	2 月 24 日
レクチャー35	Anaphylactic Shock Treatment	3 月 1 日
レクチャー36	Causes of Anaphylaxi	3 月 1 日
症例 73	麻疹 + 神経性食思不振症	3 月 1 日
症例 74	クリオプロブリン血症	3 月 1 日
症例 75	成人 T 細胞白血病	3 月 1 日
症例 76	花粉・食物アレルギー症候群	3 月 1 日
症例 77	Dystrophia myotonica	3 月 1 日
症例 78	Erythema nodosum	3 月 1 日
レクチャー37	AS	3 月 2 日

レクチャー38	Af	3月2日
症例 73	Aspergilloma	3月2日
症例 74	Calcific AS	3月2日
症例 75	胸部大動脈切迫破裂	3月2日
症例 76	皮膚筋炎	3月2日
症例 77	上大静脈症候群	3月2日
症例 78	RA	3月2日
レクチャー38	cardiomyopathy	3月3日
レクチャー39	Chest pain	3月3日
症例 79	CLL	3月3日
症例 80	Graves' disease	3月3日
症例 81	髄膜炎菌性髄膜炎	3月3日
症例 82	橋中心脱髄症候群	3月3日
症例 83	化膿性骨髓炎	3月3日

症例 84	SAPHO 症候群	3月3日
研修医振り返り	オミクロン禍で交流自粛の中、様々な症例を経験し、冬の道南を温泉・スキー等満喫した1か月であった。	3月3日
レクチャー40	Hypertension	3月4日
レクチャー41	IV medication for Hypertension	3月4日
症例 85	Lyme 病	3月4日
症例 86	進行性核上性麻痺	3月4日
症例 87	脾癌	3月4日
症例 88	帯状疱疹	3月4日
症例 89	感染性心内膜炎、肺膿瘍	3月4日
症例 90	SLE	3月4日